

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018年	5月	23日	記入者	倉本尚美
調査者名	久門	倉本	鈴木	仲谷	

調査対象先	岡松家				
所在地	五條市野原西4丁目5-15			電話番号	
代表者 調査対応者	岡松佐紀さん				
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	件
	建造物	県指定:	1件 1棟	国宝:	件 棟
				重文:	件
				重文:	件

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input checked="" type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	
	今後の予定	
	要望	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	県指定の岡松家長屋門は、江戸時代に地区の代官を務めた岡松家の家屋で、江戸時代前期の建造。30年ほど前、県の補助を得て屋根瓦のほぼ半分を取り替えたが、今後は耐震工事をしたい。
	要望	耐震工事の公的補助をお願いしたい。

防火対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input checked="" type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	1962(昭和37)年に桃山時代建造とされた主屋が焼失、長屋門は幸い難を逃れた。長屋門には消火器を置いているだけ。
	今後の予定	火災感知器、火災報知機を設置したいと考えており、消防署からも勧められている。しかし、資金不足で実施できていない。
	要望	資金面で公的補助をお願いしたい。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	岡松家
-------	-----

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input type="radio"/> A: 経験あり	<input checked="" type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	
③ 今後	今後の予定、要望	白アリ被害等はないが、注意していきたい。

江戸初期建造とされる県指定の岡松家長屋門

岡松家長屋門の正面全景



庭側からの長屋門。右が門部分

長屋門の物置部軒裏では老朽化で一部欠落も



門の内側に置かれた消火器

【調査票記入者(倉本尚美)の感想】



県指定の建造物だけあって重厚な造り。江戸時代にこの地で代官を務めていたのが岡松家。約30年前に屋根瓦を取り替えたということだが、耐震補強はまだ不十分である。桃山時代に主屋が焼失したが、長屋門は残り現在に至る。消火器の設置のみなので、今後、火災感知器と火災報知機の設置が望まれる。